

- 問1 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸皇子）は、冠位十二階の制定とともに「十七条の憲法」を定めました。この法令が制定された主な目的として最も適切なものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 天皇の命令に従うことなど、役人が守るべき道徳や政治を行う上での心構えを示すため | 2. 戦後の民主主義に基づき、個人の尊厳を重んじる教育理念を確立するため | 3. 新しく開墾した土地を、期限を設けずに永久に私有することを認めるため | 4. モンゴル帝国のフビライ・ハンによる侵攻に備え、全国の武士を統制するため |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問2 7世紀後半、中大兄皇子らが中心となって行われた政治改革である「大化の改新」ののち、唐・新羅の連合軍に敗れた「白村江の戦い」を経て、強力な中央集権国家を目指して8世紀初頭に制定された法令を選びなさい。（2024年 山梨県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|----------|-------------|
| 1. 大宝律令 | 2. 御成敗式目 | 3. 武家諸法度 | 4. 禁中並公家諸法度 |
|---------|----------|----------|-------------|
- 問3 法隆寺の建築に見られる特徴や背景について説明したものととして、歴史的事実に基づき最も適切な記述を選んでください。（2024年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 室町時代の文化背景をもとに、現代の和風建築の原型となった「書院造」の様式で建てられている。 | 2. 中国や朝鮮半島など大陸からの影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化の特色を色濃く残している。 | 3. 鎌倉時代に武士の間で流行した禅宗の影響を受け、装飾を排した質実剛健な造りとなっている。 | 4. 平安時代の貴族たちが好んだ日本独自の様式である「寝殿造」を取り入れ、庭園との調和を重視している。 |
|--|---|--|---|
- 問4 天智天皇が政治の拠点として定めた場所は、現在の滋賀県にある琵琶湖付近に位置しています。この都の名称として正しいものを選びなさい。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-----------|--------|--------|
| 1. 大津宮 | 2. 飛鳥浄御原宮 | 3. 藤原京 | 4. 難波宮 |
|--------|-----------|--------|--------|
- 問5 九州北部の福岡県付近に位置する「水城」が築かれた歴史的な背景と、その目的について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 源平合戦において、平氏が源氏の追撃を阻止するために九州に設置した要塞である。 | 2. 白村江の戦いでの敗戦後、唐や新羅の侵攻に備えて大宰府を防御するために築かれた。 | 3. 古墳時代に、大陸からの渡来人の技術を取り入れて築かれた大規模な前方後円墳である。 | 4. 東北地方の蝦夷を平定するために、律令政府が北方の軍事拠点として築いた。 |
|---|--|---|--|
- 問6 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた大和政権（日本）は、大陸からの侵攻を恐れて九州などの防衛を強化しました。その際、九州北部に築かれた土塁と堀による防御施設、およびそこに配置された兵士の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2022年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-------------|
| 1. 多賀城と健児 | 2. 水城と防人 | 3. 多賀城と防人 | 4. 水城と東山道の兵 |
|-----------|----------|-----------|-------------|
- 問7 飛鳥時代、仏教の受容に積極的であった蘇我馬子が、大陸から招いた技師の指導を受けて建立した、日本で最初の本格的な寺院を何といいますか。（2025年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 東大寺 | 2. 四天王寺 | 3. 飛鳥寺 | 4. 法隆寺 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問8 7世紀の飛鳥時代、日本（倭）は百済の復興を支援するために朝鮮半島へ大軍を派遣しましたが、白村江の戦いにおいてある2つの国の連合軍に大敗しました。この時、日本が対戦した連合軍の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2018年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 隋と高句麗 | 2. 元と高麗 | 3. 宋と新羅 | 4. 唐と新羅 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問9 中大兄皇子が中心となって進めた「大化の改新」において、目指された政治体制の説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。（2020年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 土地と人々を国家が直接支配する公地公民の原則に基づく、天皇中心の中央集権体制 | 2. 武士が政治の実権を握り、幕府によって全国の土地を管理する体制 | 3. 有力な豪族が各地を分割して支配し、天皇がその調整役を担う体制 | 4. 仏教の力を借りて、全国に国分寺を建てることで地方の安定を図る体制 |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
- 問10 7世紀後半、天武天皇の時代に鑄造されたとされる日本最古の銅銭の名称を次の中から選びなさい。かつては708年に発行された和同開珎が最古とされていましたが、飛鳥池遺跡の発掘調査などにより、この貨幣の存在が改めて注目されました。（2023年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|--------|---------|
| 1. 無文銀銭 | 2. 皇朝十二銭 | 3. 富本銭 | 4. 和同開珎 |
|---------|----------|--------|---------|
- 問11 飛鳥時代、有力な豪族として聖徳太子（厩戸皇子）と協力し、仏教を広めるとともに天皇を中心とした国づくりを進めた人物はだれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 蘇我入鹿 | 2. 蘇我稲目 | 3. 物部守屋 | 4. 蘇我馬子 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 聖徳太子が活躍した7世紀初め頃の政治の様子について、制度の内容とその背景を記述した文として正しいものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 地方の有力者が「国司」として任命され、中央から派遣された役人と共に土地を治めた。 | 2. 冠の色によって12段階の位を示し、個人の功績に応じて地位を与える制度が整えられた。 | 3. 律令に基づいて全国を国・郡・里に分け、中央集権的な地方支配体制が完成した。 | 4. すべての土地を国有とする「公地公民」の原則が確立され、農民に口分田が与えられた。 |
|---|--|--|---|
- 問13 大宝律令のもとでの人々の負担について記した資料によると、口分田を与えられた農民には、収穫した稲の約3%を納める「租」のほかに、布や特産品を納める負担や、九州の北海岸を警備する「防人」などの兵役が課されていました。このような制度が整えられた主な目的として、最も適切なものはどれか。（2020年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 有力な農民に土地の私有を認めることで、地方の開墾を促進し、農業生産力を高めるため。 | 2. 公地公民の原則に基づき、国家が土地と人民を直接支配して税収や軍事力を確保するため。 | 3. 地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡すことで、農村の貧富の差を解消するため。 | 4. 土地を所有する権利を証明する「地券」を発行し、税制を金納に統一して財政を安定させるため。 |
|--|--|--|---|
- 問14 中大兄皇子（天智天皇）らが、有力豪族であった蘇我氏を打倒して開始した「大化の改新」と呼ばれる政治改革の主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 大陸との交易を制限し、独自の文化を育てること | 2. 仏教の力を借りて、国家の混乱を鎮めること | 3. 武士の力を結集し、地方の反乱を抑えること | 4. 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること |
|---------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天皇の命令に従うことなど、役人が守るべき 道徳や政治を行う上での心構えを示すため	聖徳太子は、豪族どうしの争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築くことを目指しました。そのため、役人が守るべき道徳的な規範として「十七条の憲法」を定め、「和を以て貴しとなす」という精神や、天皇の命令への服従を説きました。土地の私有を認めたのは奈良時代の墾田永年私財法、教育の理念については戦後の教育基本法の内容です。
問2	答え 1 大宝律令	唐の律令を模範として701年に制定されたこの法令により、日本は本格的な律令国家として歩み始めました。刑法にあたる「律」と、行政法にあたる「令」が整備されたことで、天皇を中心とする中央集権的な統治体制が確立されました。
問3	答え 2 中国や朝鮮半島など大陸からの影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化の特色を色濃く残している。	法隆寺が建立された飛鳥時代は、仏教の伝来とともに、中国（南北朝時代や隋）や朝鮮半島の百濟などの技術が積極的に導入された時期です。法隆寺の柱に見られる「エンタシス（中央のふくらみ）」などの特徴は、遠くギリシャの神殿建築の影響がシルクロードを経て伝わったものと言われており、当時の国際色豊かな文化背景を示しています。寝殿造や書院造は、より後世の時代に成立した建築様式です。
問4	答え 1 大津宮	中大兄皇子は、唐や新羅の侵攻に備えた防衛体制を整える中で、都をそれまでの飛鳥から滋賀県の琵琶湖近くにある大津宮（近江大津宮）へと移しました。この地で天智天皇として即位し、日本初の全国的な戸籍の編纂や、近江令と呼ばれる法令の制定など、国家体制の整備を進めました。
問5	答え 2 白村江の戦いでの敗戦後、唐や新羅の侵攻に備えて大宰府を防御するために築かれた。	当時の倭（日本）は百濟の再興を支援するために朝鮮半島へ出兵しましたが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に完敗しました。これを受けて、中大兄皇子は国内の防衛体制を急ぎ整備する必要に迫られました。対馬や壱岐、筑紫に防人（さきもり）を配置するとともに、大宰府周辺には水城や大野城などの朝鮮式山城を築き、外敵の襲来に備えました。
問6	答え 2 水城と防人	敗戦後、天智天皇は唐や新羅の侵攻に備えるため、対馬や九州北部に「防人（さきもり）」と呼ばれる兵士を配置しました。また、大宰府を守るために福岡平野の奥に「水城（みずき）」という巨大な土塁と堀を築き、さらに周囲の山々には「朝鮮式山城（ちょうせんしきやまじろ）」を建設して防衛網を固めました。多賀城は後世に東北地方の蝦夷に対抗するために築かれたものです。
問7	答え 3 飛鳥寺	崇仏論争で物部氏に勝利した蘇我氏が、その権勢を示すとともに仏教を広める拠点として建立しました。それまでの日本の建物にはなかった屋根瓦の使用や、五重塔・金堂といった伽藍配置など、大陸の最新技術が初めて体系的に取り入れられた歴史的建造物です。
問8	答え 4 唐と新羅	663年、日本は同盟関係にあった百濟を助けるために水軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）において、当時朝鮮半島で勢力を拡大していた新羅と、それを支援する唐の連合軍に敗北しました。この敗戦により、日本は朝鮮半島における拠点を完全に失うこととなりました。隋は白村江の戦いの以前に滅亡しており、元や高麗は中世（鎌倉時代）の勢力です。
問9	答え 1 土地と人々を国家が直接支配する公地公民の原則に基づく、天皇中心の中央集権体制	それまでは蘇我氏のような有力豪族が強大な権力を持っていましたが、中大兄皇子は中国（唐）の制度を参考に、天皇が全国を直接支配する仕組みを整えようとしていました。この改革の基本方針は、646年に出された「改新の詔」によって示されました。
問10	答え 3 富本钱	奈良県の飛鳥池遺跡などで大量に出土したことにより、それまで最古の貨幣と考えられていた和同開珎（708年発行）よりも古い683年頃に、天武天皇によってつくられたことが判明しました。表面には「富」と「本」の文字が記されています。当時の律令国家としての体制を整える一環として、また呪術的な目的も含めて鑄造されたと考えられています。
問11	答え 4 蘇我馬子	蘇我馬子は、仏教の受容をめぐる対立していた物部守屋を倒し、一族の繁栄を築きました。聖徳太子とともに冠位十二階や十七条の憲法の制定に関わり、中央集権的な国家体制の基礎を作りました。選択肢にある蘇我入鹿は馬子の孫にあたり、大化の改新（乙巳の変）で滅ぼされた人物です。
問12	答え 2 冠の色によって12段階の位を示し、個人の功績に応じて地位を与える制度が整えられた。	冠位十二階は、位によって冠の色を分けることで、宮中における序列を視覚的に明確にした制度です。これは個人の能力を評価する仕組みであり、世襲によって地位が決まっていた当時の豪族主導の政治を改めようとしたものです。他の選択肢にある国司の設置や公地公民などは、大化の改新以降の「律令国家」へと向かう過程で整備された仕組みです。
問13	答え 2 公地公民の原則に基づき、国家が土地と人民を直接支配して税収や軍勢力を確保するため。	律令国家は、土地と人民はすべて天皇（国家）のものであるという「公地公民」の思想を基本としていました。班田収授法によって人々に口分田を配分する見返りとして、租・調・庸といった税や兵役などの重い義務を課し、中央集権的な国家体制の財政と防衛を支えようとした。
問14	答え 4 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること	蘇我氏のような特定の豪族が政治の実権を握る状況を打破し、土地や人民を国家（天皇）のものとする公地公民の制などを導入しようとしていました。これは、当時の中国の律令制度を模範とした中央集権的な国家体制の構築を目指したものです。